

平成24年度 新居浜市まちづくり協働オフィス業務受託団体審査委員会 会議録

- 日 時 平成25年2月21日(木) 16:00～16:45
- 場 所 新居浜市役所3階 応接会議室
- 出席者 委 員：工藤市民部長(委員長) 田中企画部長(副委員長)
岡松秘書広報課長 岡部市民部総括次長兼市民活動推進課長
(欠席：関企画部総括次長兼総合政策課長) 以上 4人
受託団体：NPO法人にはま市民企画ノポック
吉川オフィス業務統括責任者、米谷事務長 以上 2人
事務局：井上副課長 尾藤係長 大野主任 以上 3人
計 9人
- 傍聴人数 なし
- 議事内容 平成24年度事業実績報告及び今後の事業計画について

○概要

16:00 開 会

受託団体：<平成24年度事業実績報告及び今後の事業計画について>説明
<質疑応答概要>

委員：実施報告書の中で、展示コーナーの設置ということで今までなかったと思うが、どういう形で運用されているのかお聞きしたい。

受託団体：展示期間は2週間で、予約制で行っている。事業やイベントの予告ではなく、事業報告を主にしていただくというのが主旨である。協働オフィスに来られた人も結構長い時間見ていただいている。団体さんの活動報告・PRとしてはよい方法であったと思っている。もう一つの目的は、今まで広報にも力を入れていたが、その後の事業報告については、あまりしていない団体さんが多かった。実はこれが次の事業実施の際の協力や助成金などに繋がるものであり、協働オフィスだけでなく他の展示スペースなども活用しながら、記録し、それをオープンにするということにより広く周知していただいている。

委員：市と委託の項目を決めて、協働オフィス開設以来、にはま市民企画ノポックさんと委託契約し、それに基づき報告書を提出していただいております、それぞれ得意不得意項目があると思うが、調査研究の報告の中で、調査内容や数値的なものなど具体的な報告などがもっと出てきてもよいかと思うが、いかがか。

受託団体：協働オフィスはまさに行政と市民団体との協働事業である。現在はこの部分に関してはおまかせいただいているという認識でいるが、ぜひご意見をいただきながらやっ

ていきたい。

委員：報告書の中の「その他事業」の注意書きで「仕様書には記載されていないがオフィス事業に関連して行った自主事業等」とあるが、市政だよりサポート事業など市と委託契約を結んで行っている事業については、受託事業という形で明記してほしい。

受託団体：次回からそのようにしたいと思う。ただ、市からの委託事業だけでよいのか。事業としては、県やその他から助成を受けて実施している事業もあるが、それらについても全て明記するという事なのか。

委員：協働オフィス業務そのものは市と委託しており、その中の個々の事業についても市から受託している事業もあるということを知りやすくしたらどうかということである。

委員長：協働オフィスの管理運営に対する委託に関しては、市の他の課所と結んでいる委託事業については、仕様書以外の自主事業ということで間違いないと思うが、この報告書を他の所でも使用するような場合、また他の助成に対して行う報告書などについては、その目的や要綱に伝えられるような報告でなければならないので、きちんと明記しておく方が、誤解がないのではと思う。

委員：問い合わせの対応の中で、NPO法人の設立やNPOに対するものなどの内訳的なものはあるのか。

受託団体：NPOに伴うものだと10件はある。NPOの概要や漠然と設立の相談に来られた場合、設立までに至る団体さんは少ない。今年度は、協働オフィスに相談があって法人を設立した団体は3団体であった。現在も2団体から相談を受けていて、おそらく設立申請までいくと思う。

委員：報告書の中でオフィス交流会参加者に対して行ったアンケートについての結果はあるが、利用登録団体に対する満足度調査のようなアンケートはとられていないのか。

受託団体：今年度はとっていない。

事務局：＜市民活動団体の実態調査結果について＞説明

委員：施設の管理運営者としての利用者へのアンケートは必要ではないかと思う。来年度以降の課題として、ぜひ検討していただきたい。

受託団体：昨年度は利用登録団体に実施した。来年度はぜひ実施したい。

以上の質疑応答があった。

16：45 閉会